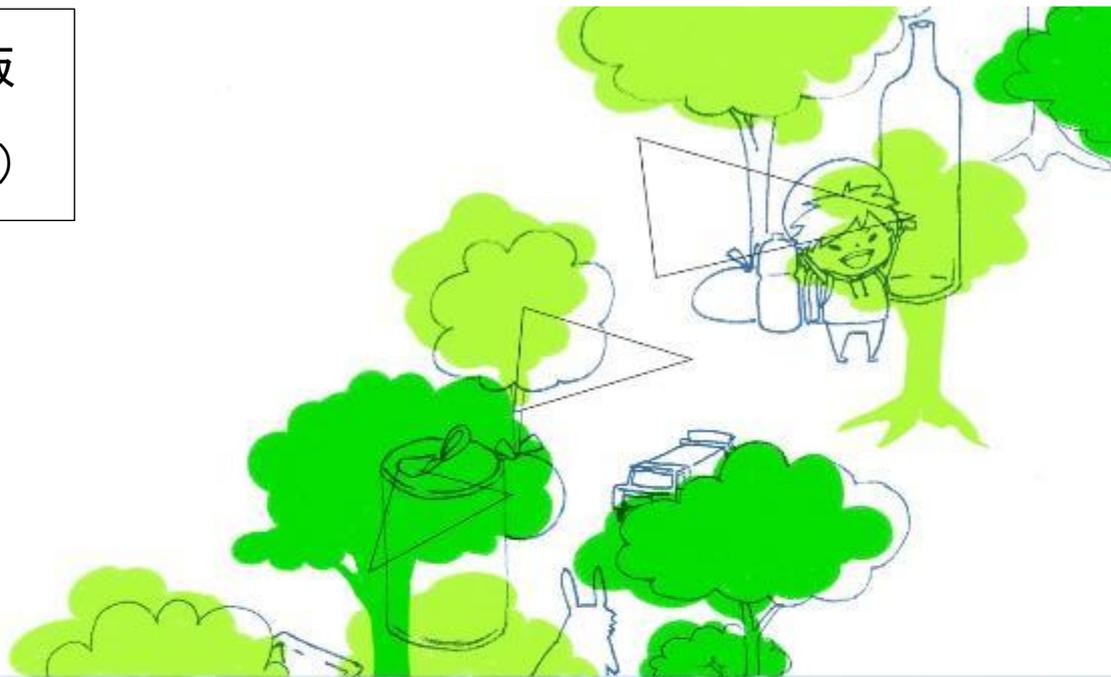


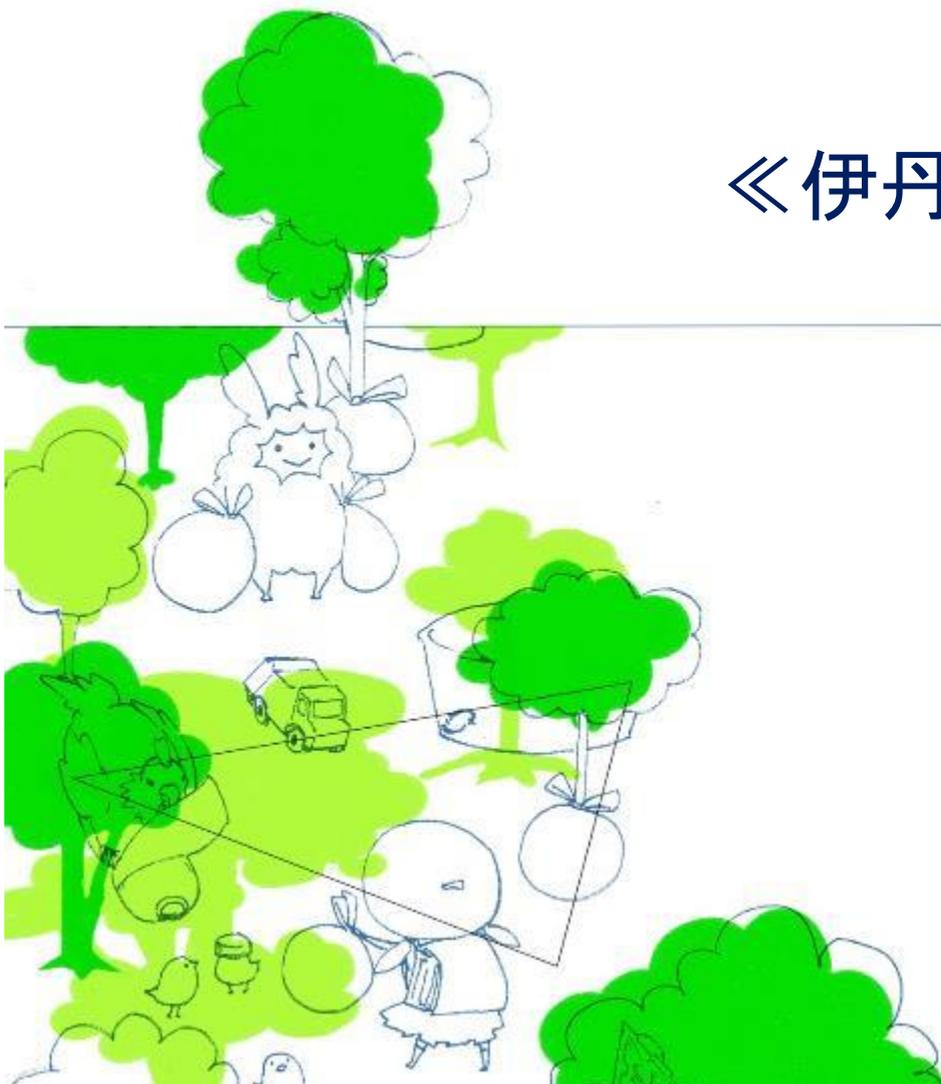
令和6年度版  
(2024年度)



# 環境学習ガイドブック

～小学校4年生「ごみ学習」～

《伊丹市版》



令和6年(2024年)4月  
豊中市伊丹市クリーンランド  
環境学習推進会議

# －目次－

環境学習ガイドブックについて……………	2
学習指導要領(社会)抜粋……………	3
ごみ学習案……………	4
単元目標、単元構成、学習評価の観点 (小単元)	
家庭から出るごみ	
ごみを集める仕事(出前授業)	
ごみを処理する仕事(施設見学)	
くらしに活かす工夫	
資料編……………	9
宿題プリント……………	24

この「環境学習ガイドブック」の内容につきましては、クリーンランドのホームページにも掲載(PDF)しておりますので、随時ダウンロードしていただきご利用ください。

## ◆環境学習ガイドブックについて

広範囲に及ぶ環境学習の中でも、「ごみ」の学習は子どもたちにとって身近なテーマであり、家庭や学校生活において「もったいない」の心の育みを通して、環境問題に対する関心を持つきっかけとなる大切な単元です。

子どもたちへの「ごみ」の学習に関しては、より分かり易く効果的な方法を検討していくことが大切です。取扱うデータも身近で理解しやすいものが必要です。また、実際に授業を行う先生方にも、それらの情報を存分に活用していただける学習教材にしていくことが重要です。

市内小学校の先生方に社会科の「ごみ」に関するアンケートを実施したところ、「情報量が少ない」「教材の活用方法に苦労している」といった声が多く、「関係する部局の各々の役割が分かりにくい」といった意見もありました。

そこで、これらの課題解決を図るには体系的なガイドブックが必要と考え、環境学習推進会議(※)において作成し、毎年見直しを行っています。

本書を多くの先生にご活用いただき、実践を通した中でご意見をフィードバックしていくことで、より良い教材にしていきたいと思っております。

※環境学習推進会議委員については巻末に記載

### ●環境学習の目的

環境学習は、環境問題を単に学ぶだけでなく環境にやさしい行動を市民が自ら実践できるよう支援することが目的である。(略) 廃棄物処理に係る様々な課題、とりわけ「ごみ分別」の重要性に「気づき」、自らのライフスタイルを変革させる「行動」に結び付けるための“学習の場”となることをめざしていく。

『豊中市伊丹市クリーンランド環境学習基本方針』より

### ●ガイドブックの使い方

本書は、ごみの学習の中でも「収集」と「焼却処分・資源物の再生利用」を中心に扱っています。さらにその中でも「施設見学」と「出前授業」に係る内容を充実させ、前後の学習を含めた4時間分について、学習の方法とご利用いただきたい資料について提案しております。お手持ちの学習指導案や資料、授業時間等に合わせて、柔軟にご活用ください。

### ●ガイドブックの活用状況

施設見学に来られた全小学校や出前授業を利用した先生方に、ガイドブックの使用状況等に関するアンケート調査を毎年実施しています。結果の概要は以下の通りです。

#### ・伊丹市の小学校での使用状況

- \* 17校(100%)の全小学校に配布し、全校から回答。
- \* 13校(76%)がガイドブックを使用。▼未使用4校(24%)。
- \* 各単元の使い勝手では、良かったとの回答が多く、学習の参考にいただいた。
- \* 意見の一例:「ごみを集める仕事」では、クリーンランドに向かうまでの流れが簡潔で分かりやすく書かれていたため、子ども達の興味関心の高まりが感じられた。  
「資料編」のリサイクルの話などが詳しく良かった。

●追記:ご意見等を参考に、全小学校でより活用していただきやすい内容となるように努めます。

## ◆学習指導要領(社会)抜粋

### 小学校学習指導要領 (社会)

#### 第1 目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

[第4学年]

#### 1 目標

(1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや、自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

#### 2 内容

(2) 人々の健康や生活環境を支える事業について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現すること。

#### 3 内容の取扱い

(1) 内容の(2)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(イ)については、現在に至るまでに仕組みが計画的に改善された公衆衛生が向上してきたことに触れること。

ウ アの(イ)及びイの(イ)については、ごみ、下水のいずれかを選択して取り上げること。

オ イの(イ)については、社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱うとともに、ごみの減量や水を汚さない工夫など、自分たちにできることを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

### 学習指導要領解説 社会編

ごみや下水などの廃棄物を処理する事業は、地域の生活環境に配慮しながら廃棄物を安全かつ衛生的に処理していることや、県内外の関係機関が相互に連携して処理したり再利用したりしていることなどを基に、廃棄物を処理する事業について理解すること。また、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解する。

廃棄物をどのように集め処理しているか、再利用にはどのような方法があるか、どのような関係機関や人々の協力の基に成り立っているかなどの問いを設けて調べたり、その事業と人々の健康や生活環境を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現すること。

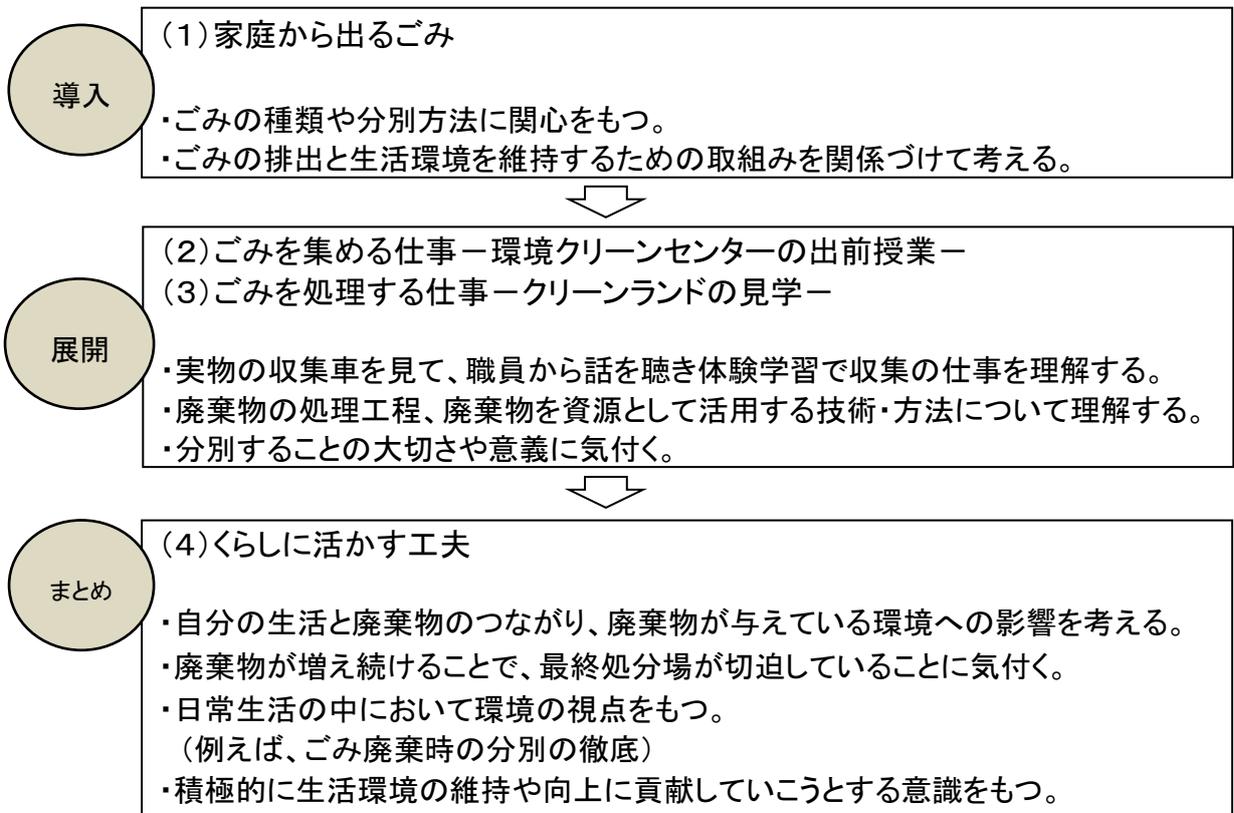
ごみや下水などの廃棄物を処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付けて、廃棄物を処理する事業の役割を考え、文章で記述したり、白地図や図表などにまとめたことを話し合ったりすること。

学習したことを基に、ごみを減らしたり水を汚したりしないために自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして、人々の生活環境の保全に関心を高めるよう配慮することが大切である。その際、地域におけるごみの減量や資源としての再利用、水を汚さない取組などを取り上げるなどして、自らも廃棄物の適切な処理や再利用に協力しようとする態度を養うように配慮することが大切である。

○単元名 「ごみのゆくえ」

- 単元目標
1. 地域の人々の良好な生活環境を保つていくために、ごみの収集や処理が計画的、衛生的に進められていることを学び、ごみの仕事に携わる人を身近に感じる。
  2. 資源物を回収して有効に活用することの大切さに気付き、自らも環境保全に協力する地域市民の一員として、ごみの適切な処理・再利用に取り組む意識(とりわけごみの分別に協力する意識)をもつ。
  3. 身の回りの生活から課題を見つけ、資料の読み取り・観察・聞き取り・体験的な取り組みを通して、問題の解決を図る。

○単元構成



○学習評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ごみ処理の方法や分別の仕方、意義を理解するとともに、見学や聞き取り調査したり、地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、まとめている。	ごみの分別や処理について、学習したことを基にごみ減量の工夫など、自分たちが協力できることを考えたり、選択・判断したりして表現している。	ごみの分別や処理、ごみ減量施策に関心をもち、学習計画を立てたり見直したりして主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

※学習案では、各小単元の「評価(△)」の中で、【知】、【思】、【主】という形で表示しています。

- \* 各小单元について、「時数」という表現をしていますが、各学校の授業時間、授業内容に合わせて柔軟に内容を追加・変更してください。
- \* 事前学習から『見学のしおり』（クリーンランド発行）または『わたしたちのくらしとごみ』（生活環境課発行）をご活用ください。
- \* 事前の宿題等で、自分の家庭で出るごみ調べを行ってください。以下の学習案では、家庭でのごみ調べ学習を行っていることを想定しています。

小单元	家庭から出るごみ	時数	1/4
目 標	家庭から出るごみに対して関心を持ち、種類や分け方、出し方を考える。		
	学習活動	資料	評価(△)と支援(▲)
<b>ごみの種類や出し方をさぐろう！</b>			
<p>1. 家庭から出るごみについて発表する。</p> <p>■ごみの種類</p> <p>○紙類、生ごみ、プラスチック製容器包装、ペットボトル、びんや缶、燃やさないごみなど。</p> <p>■1週間に出るごみの量</p> <p>○燃やすごみ(生ごみ)は毎日出た。</p> <p>○お菓子の紙箱やプラ容器は毎日出た。</p> <p>○牛乳パックは1週間に1つ出た。</p> <p>○その他、新聞、雑誌など調べる。</p> <p>2. 調べた結果で、分かったことを話し合う。</p> <p>○たくさんの種類と量がある。</p> <p>○生ごみ、紙くずは毎日のように出る。</p> <p>○お菓子の袋や箱もたくさん出る。</p> <p>3. 出し方について知っていることを発表する。</p> <p>○ごみの種類ごとに出す日が決まっている。</p> <p>○種類ごとに出す場所が決まっている。</p> <p>○午前8時30分までに出すことに決まっている。</p> <p>4. まとめ</p> <p>次時に向けての宿題を提示する。</p> <p>○ごみ分別表をつくろう！</p>	<p>◇「のびる伊丹市」P65 家庭から出るごみ 『1週間のごみ調べの表』 宿題プリント</p> <p>◇実際のごみの写真又は 実物</p> <p>◇各家庭に配布のガイドブック「ごみと資源物の分け方と出し方」に、ごみ出し3原則が記載されている。(ガイドブックは市のホームページに掲載されています)</p> <p>◇「のびる伊丹市」P66 『ごみと、しげん物の分け方と出し方』 宿題プリント</p>	<p>▲事前の宿題等で自分の家庭で出るごみ調べの機会をつくる。</p> <p>▲ごみ調べの表から分かることを発表することで、ごみの種類や量に注目できるようにする。</p> <p>△家では種類ごとに分けて出していることなどに着目し、適切に表現している。 【思】</p> <p>▲分別以外に時間や曜日などの出し方ルールがあることに目を向けることができるようにする。</p>	
備考	伊丹市のごみ収集は、伊丹市環境クリーンセンターが委託している収集業者が行い、収集されたごみの処理は豊中市伊丹市クリーンランドが担当しています。		

小単元	ごみを集める仕事(環境クリーンセンターの出前授業)	時数	2/4
目 標	ごみの出し方について調べ、ごみや資源物を集める仕事の大切さに気づく。		

学習活動	資料	評価(△)と支援(▲)
------	----	-------------

**ごみ収集の工夫をさぐろう！**

1、3は前時に行く。  
出前授業に十分な時間を残す必要があり、

<p>1. ごみの出し方について調べたことを確認する。</p> <p>○ごみを出す日、曜日、時間が決まっている。</p> <p>○ごみを出す場所、出し方が決まっている。</p> <p>2. どうしてごみを出す日や出し方などが決まっているのかを話し合う。</p> <p>○散らばると不潔、悪臭、場所を取って迷惑になる。</p> <p>○危険なものは分けないと、収集する人が困る。</p> <p>○何度も同じ場所に収集に行く必要がなくなる。</p> <p>○分別することでリサイクル率が高くなる。</p> <p>○分別して再利用することができる。</p> <p>○火災の原因になる場合がある。</p> <p>3. 出されたごみは、だれが集めるのかを考える。</p> <p>○クリーンセンターが委託している業者が収集車で集める。</p>	<p>◇ガイドブック</p> <p>◇ごみステーション写真</p> <p>◇クリーンセンター写真、収集時の様子写真</p>	<p>▲前時学習の振り返りをもとに、出前授業の学習内容を全員で確認できるようにする。</p> <p>△ごみの出し方に着目して問いを見出ししている。【主】</p> <p>▲計画的・衛生的に作業が進められていることに目をむけることができるように促す。</p>
---	--	---

**出前授業**

<p>4. 一日の仕事の流れを確認する。</p> <p>○必ず準備体操をし、始業前点検を行う。</p> <p>○収集車1搬送あたり、約 400 軒分のごみを集める。</p> <p>5. 収集車の仕組みを確認し、投入体験を行う。</p> <p>○プレスし、たくさん積載する仕組み。</p> <p>○常に安全確認を行っている。</p> <p>6. 収集作業での説明から、特にごみを出す際に気を付けるべきことについて、話し合う。</p> <p>○包丁など危険物には特に注意が必要。</p> <p>○ごみの出し方、分別のルールを守ること。</p> <p>○ごみの収集とまちの美化に協力すること。</p> <p>○スプレー缶は穴を開けずに、完全に中身を使い切って出すこと。</p> <p>○充電式電池は電器店等の回収ボックスに入れること。</p> <p>7. 質問・まとめ</p>	<p>◇実際の収集車を用いて説明する。</p>	<p>▲児童の安全確保には、十分注意する。</p> <p>▲出前授業を活用し、収集車両の仕組みや作業内容を学び、職員との交流を図る。</p> <p>▲ごみ出しのルールなどについて、家庭で話し合うよう動機付けを行う。</p> <p>△ごみを出す際の工夫を追求し、思考したことを表現している。【思】</p> <p>▲ごみ収集時の問題点に気付くために、家庭のごみを出すときを想起するよう促す。</p> <p>△ごみを出す際に気を付けることが分かる。【知】</p>
---	-------------------------	--

備考	投入体験については、実施の可否を事前に学校と担当部局で十分な打ち合わせを行います。通常の収集は委託業者が行っており、投入体験で使用する市の直営車両と色が異なりますが、質問があれば答える範囲に留めます。
----	--

小単元	ごみを処理する仕事(クリーンランドの施設見学)	時数	3/4
目 標	ごみ処理の仕組みやリサイクルの方法を理解し、ごみを分別する意義について考える。		
	学習活動	資料	評価(△)と支援(▲)
<b>ごみはなぜ分別しなければならないの？</b>			
<p>1. DVD「ようこそ豊中市伊丹市クリーンランドへ」の視聴 ○クリーンランドの施設の役割等を説明</p> <p>2. 焼却施設を見学する。 ■プラットホーム ■ごみピット ■ごみクレーン ■焼却炉 ■発電機 ■灰ピット ○24 時間ごみを燃やしている。 ○発生した熱の有効利用。 ○煙突からきれいになったガスを排出。</p> <p>3. スリーR・センターを見学する。 ■プラットホーム・ごみピット ○充電式電池による発火 ■中央制御室・クレーン操作室 ■資源物(びん)を手で色ごとに3 選別している様子/再生品 ■資源物(缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装)から不適物を手選別する様子/圧縮梱包品(ベール)/再生品 ○手選別をすることで、リサイクル品の品質を向上させるように努めている。 ○分別が進むことで、リサイクル率が高くなる。 ■気づきウルトラクイズ ■アルミ選別機模型</p>	<p>◇DVD視聴</p> <p>◇炉内疑似体感</p> <p>◇各見学ホールの実物展示等</p> <p>◇大研修室での待ち時間には『見学のしおり』P6・7 のクイズを各自で行う。</p> <p>◇質問用の記入プリントがあれば用意</p>	<p>▲けがや事故のないよう、安全に見学コースを案内する。</p> <p>△目的を持って見学をし、問いを言い出している。 【主】</p> <p>▲ピットに溜まっているごみを見て、職員が 24 時間ごみの処理をしていることを伝える。</p> <p>▲学校やお店のごみはすべてがクリーンランドで処理されるわけではないが、ここでは深く言及しない。</p> <p>▲ごみ処理だけでなく、資源の再利用に積極的に取り組んでいることに気付くことができるように、展示品を紹介する。</p> <p>▲不適物や再生品などの実物をよく観察させる。</p> <p>△自分なりの疑問点を、適切な表現で質問している。 【思】</p> <p>▲質問は重ならないように留意し、見学で見て感じ、疑問に思ったことが出るように促す。</p>	
備考	ごみの処理作業や実物展示等を実際に見て、感じることで『ごみ減量の必要性』と『分別をする意義』について、きちんと理解できるよう促すことが大切です。		

小単元	くらしに活かす工夫	時数	4/4
目 標	出前授業や施設見学で学んだことを振り返り、学校や家庭での生活の場において実践しようとする。		
	学習活動	資料	評価(△)と支援(▲)
<b>気づいたことや考えたことを発表し、実行しよう！</b>			
	<p>1. 出前授業や施設見学で気付いたことを発表する。</p> <p>○処理できないものが捨てられている。</p> <p>○きちんと分ければリサイクルできる。</p> <p>○たくさんリサイクルするために人の手で分けている。</p> <p>2. みんなが分別するためには、どんな工夫ができるか考え、話し合う。</p> <p>○リサイクルできる資源物は、「マーク」表示を見て正しく分別する。</p> <p>○自分の家ではごみ箱が一つなので、分別の数にあったごみ箱を用意する。</p> <p>○ごみ分別表を分かりやすい場所に貼る。</p> <p>3. 学校でできる取組みを考え、みんなで実行する。</p> <p>○給食の食べ残しを減らして、ごみを出さないようにする。</p> <p>○ごみ当番を決めて、ごみ箱に分別して入れることを、みんなに教えてあげる。</p> <p>○雑多な紙の回収ボックスを作り、紙類を分別して入れる。</p> <p>4. 家庭で出来る取組みについて考え、実践できるように促す。</p> <p>○学校で学んだ「ごみ」のことを、家族の人に話す。</p> <p>○家のごみ箱に正しく入れる。また、ごみ出しの日を手伝いをする。</p> <p>○家から出た雑多な紙を集めて、集団回収などに出して、リサイクルする。</p>	<p>◇見学時の記録ノート等 「わたしたちのくらしとごみ」 P9. 10. 11</p>	<p>▲前時学習の振り返りを行うことで、本時の学習を見通すことができるようにする。</p> <p>▲ごみが適切に分別されていない事実を確認し、自分の家庭に当てはめて考えるように促す。</p> <p>△自分なりの考えを持ち発表している。 【思】</p> <p>▲これまでの学習から考えることを表現できるように個人又はグループごとに考えをまとめる時間をつくる。(例えば、壁新聞、作文としてのまとめ)</p> <p>△友達の意見を生かしながら、まとめている。 【思】</p> <p>▲身近な生活に目を向けてごみを減らす具体的な工夫を想起するよう促す。</p> <p>△自分の家庭で出来ること、(実現性・継続性の観点)に重点を置いて考え表現している。 【思】</p> <p>▲学習を通じて学んだことを家庭で話し合い、実践できるよう促す。</p> <p>▲3Rに関心を深めることができるように具体的な行動を促す。</p>
備考	学習のまとめでは、子どもたちが授業を通して学んだ3R(ごみの発生抑制、再使用、再生利用)の大切さに気づき、一人ひとりが「もったいない」の心を育み、意識を持って行動するよう進めてください。		

# 資料編

## ○関係機関

### 環境啓発

伊丹市生活環境課

(住所)伊丹市千僧1丁目1番(市役所4階)

(Tel)072-781-5371 (Fax)072-784-8048

(発行)『わたしたちのくらしとごみ』

※環境クリーンセンターの窓口受付業務に関する業務を行う。『わたしたちのくらしとごみ』は、市内の小学4年生向けにデータを配布している。



伊丹市  
ポイ捨て追放運動シンボルマーク

### ごみ減量

伊丹市減量推進課

(住所)伊丹市千僧1丁目1番(市役所4階)

(Tel)072-784-8110 (Fax)072-784-8048

(発行)『伊丹市食品ロス削減ガイドブック』

※ごみの減量化・資源化の企画・調整・啓発及び事業に関する業務を行う。

### ごみ収集運搬

伊丹市環境クリーンセンター

(住所)伊丹市岩屋2丁目2番8号

(Tel)072-782-0968 (Fax)072-775-3179

(発行)各家庭配布のガイドブック

『ごみと資源物の分け方と出し方』

※ごみと資源物の収集、分別や減量の市民啓発や出前授業などに関する業務を行う。

伊丹市のごみ収集は、収集業者に委託している。

「収集運搬」について

このガイドブックの中では授業にご利用いただきやすいよう、「ごみの収集」や「ごみを運ぶ」といった表現をしていますが、本来は、特にごみを集めて運ぶことについて「収集運搬」という語を使用しています。



### ごみ処理

豊中市伊丹市クリーンランド

(住所)豊中市原田西町2番1号(伊丹市岩屋2丁目4番12号)

(Tel)06-6841-5395(代表) (Fax)06-6845-6194

06-6841-8152(見学受付)

(発行)『見学のしおり』

※『燃やすごみ』を処理する「ごみ焼却施設」では、可燃ごみを適正に処理するとともに、ごみを焼却した際の熱を利用して発電を行っている。

『再生資源』などを選別処理する「資源化施設」の豊中伊丹スリーR・センターでは、搬入された資源物を手選別により異物を除去し、再商品化につなげている。



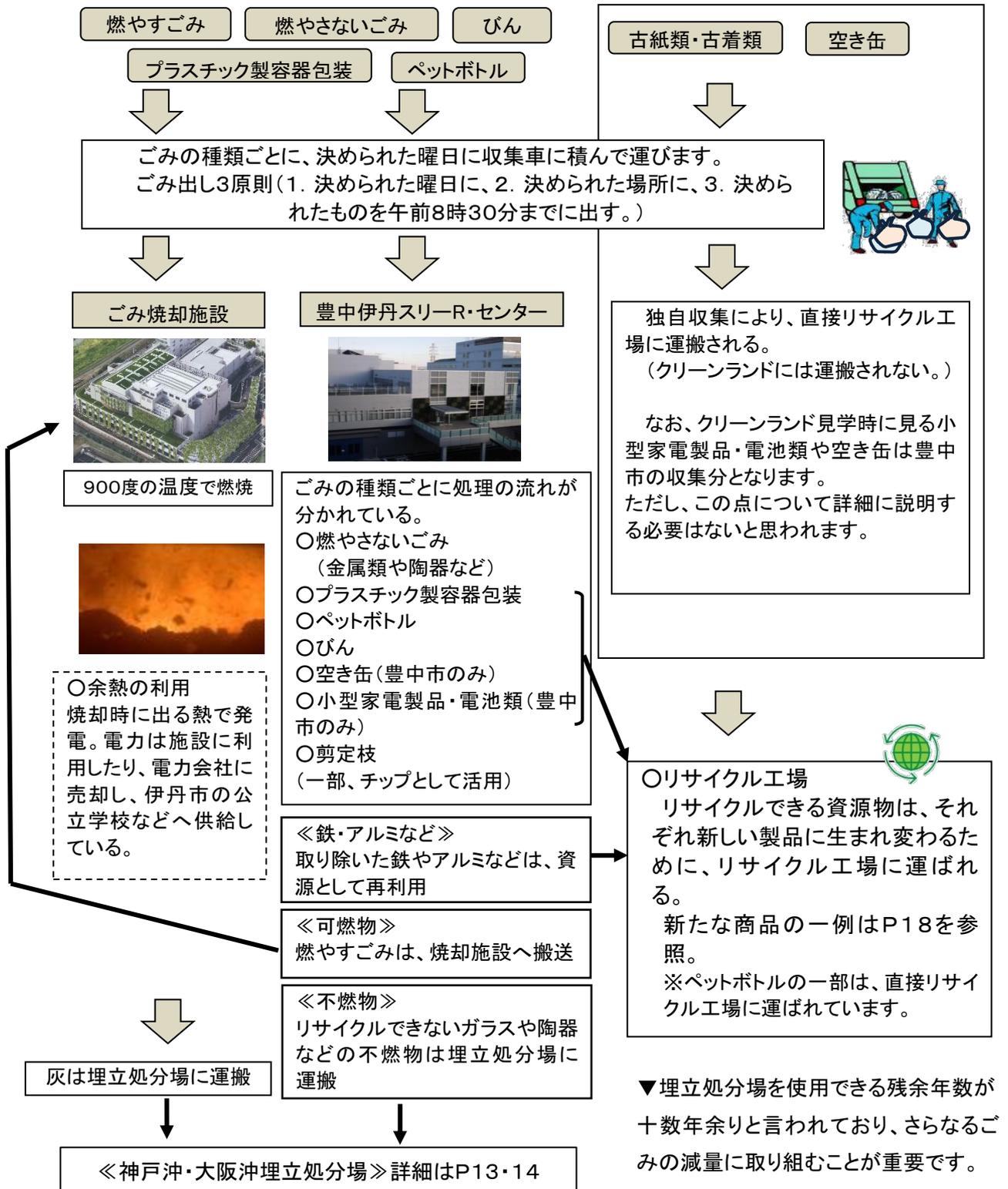
クリーンランドキャラクター  
ごみぶくろう

**埋め立て**

大阪湾広域臨海環境整備センター(大阪湾フェニックスセンター)  
(住所)大阪市北区中之島2丁目2番2号 大阪中之島ビル9階  
(Tel)06-6204-1721(代表) (Fax)06-6204-1728

※クリーンランドで処理された焼却灰などが最終的に運ばれます。(詳しくはP12・13を参照)4つの処分場の内、現在使用できるのは「神戸沖埋立処分場」と「大阪沖埋立処分場」の2つの埋立処分場です。

## ○ごみ処理の流れ



※ごみ焼却施設では、平成28年度から新施設が稼働し、焼却灰の量も減少しています。

※学習用として活用していただくための「ごみ処理の流れ」としては、「わたしたちのくらしとごみ」

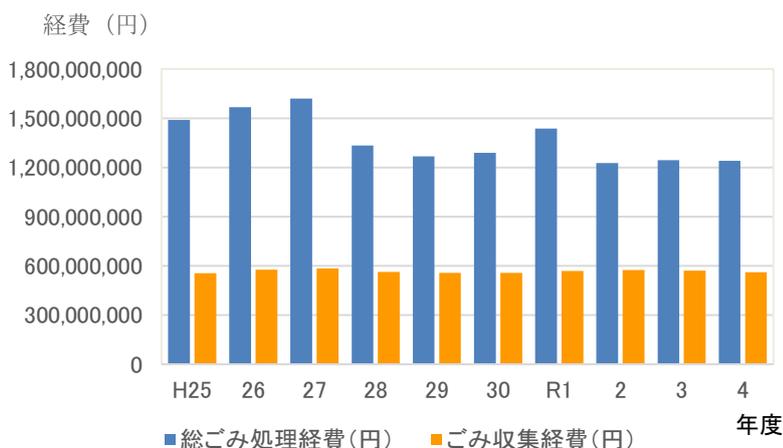
P3・4・5・6(生活環境課発行)または『見学のしおりP4・5』(クリーンランド発行)があります。

○フェニックス埋立処分場について

フェニックス計画の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の適正処理(最終処分場の確保)</li> <li>・埋立地の活用による都市の活性化(港の整備)</li> </ul>																		
計画の実施主体	大阪湾広域臨海環境整備センター(昭和 57 年 3 月 1 日発足)																		
参加している自治体	近畿 2 府 4 県 169 市町村 (近畿圏の全面積の約 67%、全人口の約 96%が参加している)																		
建設工事にかかる費用	おおむね 900 億円(1 処分場当たり)																		
埋立て可能な期間	平成元年度から、約 44 年(予定)																		
埋立処分場の数	<p>4 か所(泉大津沖、尼崎沖、神戸沖、大阪沖)</p> <p><u>写真はイラスト・写真集を参照</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>位置</th> <th>面積(ha)</th> <th>埋立容量(万m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>泉大津沖</td> <td>203</td> <td>3,100</td> </tr> <tr> <td>尼崎沖</td> <td>113</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>神戸沖</td> <td>88</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>大阪沖</td> <td>95</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>499</td> <td>7,600</td> </tr> </tbody> </table>	位置	面積(ha)	埋立容量(万m <sup>3</sup> )	泉大津沖	203	3,100	尼崎沖	113	1,600	神戸沖	88	1,500	大阪沖	95	1,400	合計	499	7,600
位置	面積(ha)	埋立容量(万m <sup>3</sup> )																	
泉大津沖	203	3,100																	
尼崎沖	113	1,600																	
神戸沖	88	1,500																	
大阪沖	95	1,400																	
合計	499	7,600																	
トラックから運搬船に積み替えるための搬出基地の数	<p>9 か所 (姫路・播磨・神戸・尼崎・大阪・堺・泉大津・和歌山・津名)</p> <p>＜大阪基地＞ <span style="margin-left: 200px;">＜尼崎基地＞</span></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>																		
処分の流れ	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>トラックで基地へ輸送 → 受付・計量 → 運搬船へ積み込み</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div> <p>運搬船で処分場へ輸送 → 船から陸揚げ → 埋立処分</p>																		

クリーンランドから埋立処分場へ運ばれる量 (年間)	・焼却灰:5,868トン ・ガラスや陶器などの不燃物:701トン (令和4年度実績・伊丹市分)
環境保全対策	☆排水処理施設の設置 ☆各種モニタリングの実施。施設の内外では水質と悪臭等、搬出基地までの沿道で悪臭、騒音、大気質、振動及び交通量等の調査 ☆自然への配慮として、緩傾斜護岸 <small>かんけいしゃごがん</small> (通常の護岸よりも植栽が容易になり、海藻も生息しやすくなる)を採用している。
参考:見学(要申込み)	大阪沖:毎月第2火曜日(06-6613-6406) 神戸沖:毎月第3火曜日(078-881-0761) 団体の場合は、本社総務課(06-6204-1721)まで

○ごみ処理に係る費用の推移 「わたしたちのくらしとごみ」P7・8



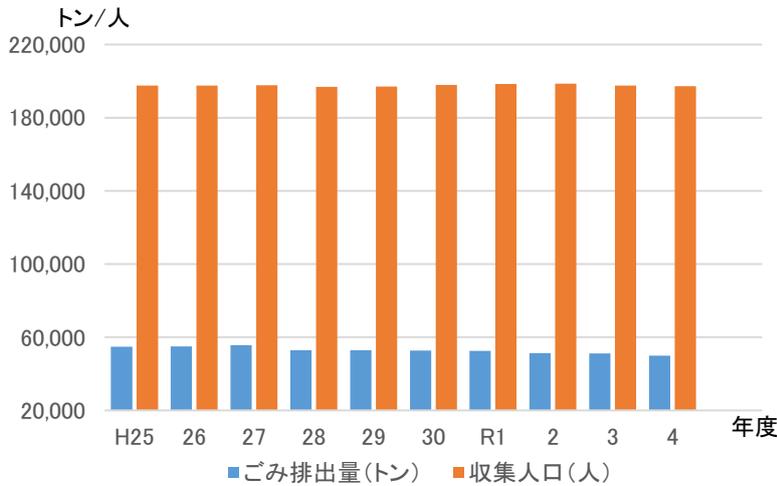
ごみ処理の総費用に占める収集経費の割合を示しています。収集に係る費用よりも、収集以外のものに係る費用(処理場経費)の方に経費がかかっていることが分かります。そのため、ごみの排出量を減らす必要があり、ごみの分別が必要となっています。

年度	H25	H26	H27	H28
総ごみ処理経費(円)	1,489,930,000	1,567,781,000	1,619,115,000	1,333,958,000
ごみ収集経費(円)	555,302,000	577,289,000	583,821,000	562,929,000

H29	H30	R1	R2	R3	R4
1,266,610,000	1,288,479,000	1,436,579,000	1,227,246,000	1,244,160,000	1,241,172,000
556,958,000	556,391,000	569,018,000	574,642,000	570,287,000	561,878,000

(環境クリーンセンター)

## ○市の人口とごみ排出量の推移 「わたしたちのくらしとごみ」P7・8



収集人口とごみの排出量の推移を示しています。(古紙などの資源物を除きます。)

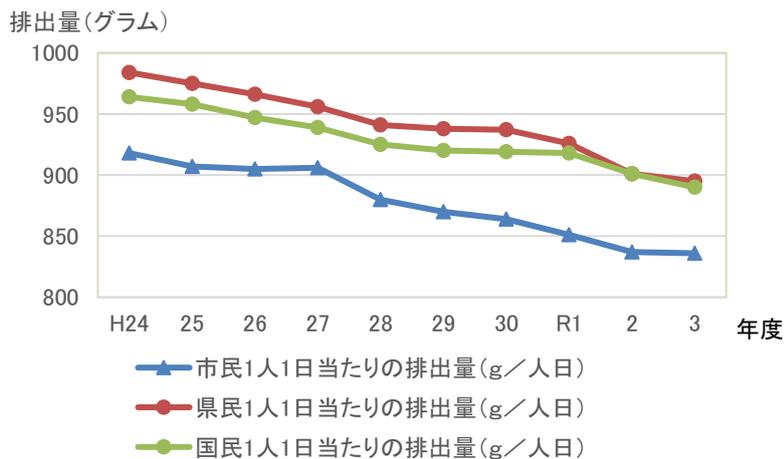
ここ10年で見ると市民1人当たりのごみの排出量は減少傾向にありますが、今後も更なるごみの減量化が必要です。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
ごみ排出量(トン)	54,870	54,948	55,653	52,982	52,835
収集人口(人)	197,638	197,580	197,826	196,947	196,982

H30	R1	R2	R3	R4	備考
52,763	52,472	51,390	51,120	50,017	資源物除く
197,851	198,395	198,619	197,653	197,267	各年 10/1 現在

(環境クリーンセンター)

## ○ごみ排出量の伊丹市・兵庫県・国全体の推移



令和3年度の1人1日当たり排出量

伊丹市	836g/人日
兵庫県	895g/人日
国全体	890g/人日

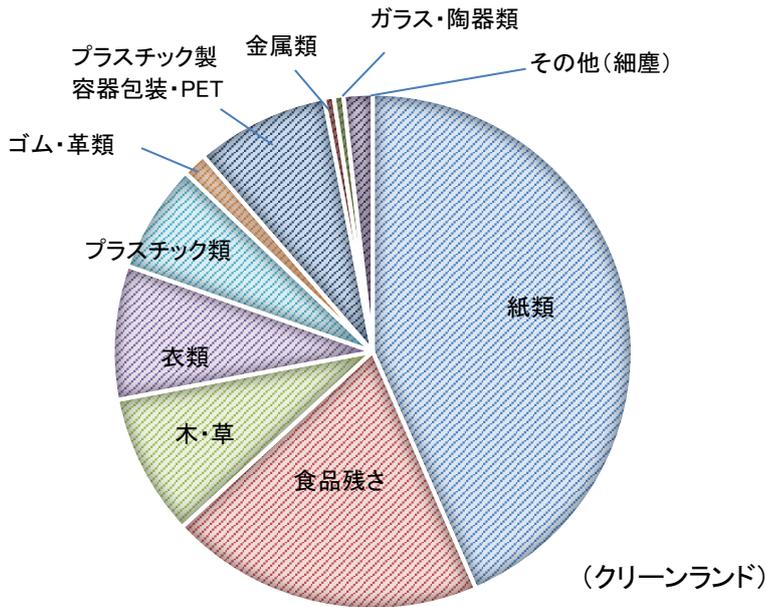
伊丹市・兵庫県・国全体でも、1人1日当たりのごみ排出量は、減少傾向となっております。

※これは資源物を含むデータのため、同ページ上部の「市の人口とごみ排出量の推移」とは基準が異なります。ただし、兵庫県・国全体との比較をする上では有効です。

(環境省『一般廃棄物処理実態調査結果』および  
兵庫県『兵庫県の一般廃棄物処理』を基に作成)

○ クリーンランドの搬入ごみの組成グラフ(令和4年度実績)

■ 燃やすごみの組成

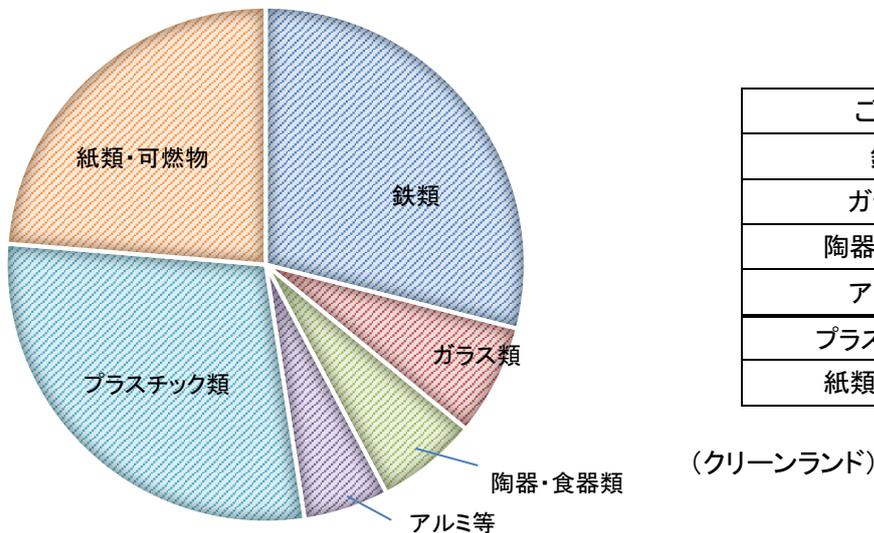


データは湿基準(搬入されたままの状態)での重量%で示しています  
割合は、12回/年検査の平均値  
また、4回/年検査の平均値です。

ごみ質	割合(%)
紙類	43.5
食品残さ	19.6
木・草	8.9
衣類	8.4
プラスチック類	6.8
ゴム・革類	1.5
プラスチック製容器包装・PET	8.3
金属類	0.6
ガラス・陶器類	0.6
その他(細塵)	1.8

紙類の割合は前年度より若干減少しましたが、平成 30 年度以降は全体の 4 割を占めており、引続きリサイクル可能な紙類の分別啓発が必要です。一方、食品残さも前年度と同様の約 20%の混入が見られます。消費期限の過ぎた食品や手の付けられていない野菜などが多くあり、“もったいない”の心を持ち、食べ残しはしないことが大切です。プラスチック製容器包装等の混入割合も減少傾向であるものの、引続き分別を実践する必要があります。

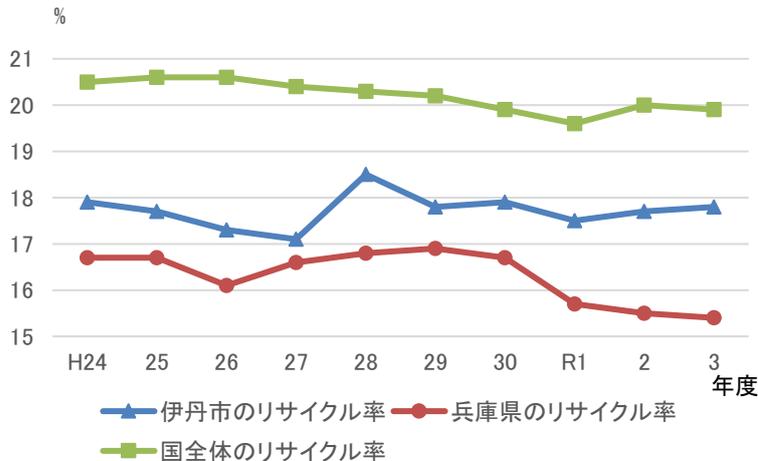
■ 燃やさないごみの組成



ごみ質	割合(%)
鉄類	29.0
ガラス類	7.0
陶器・食器類	6.3
アルミ類	5.3
プラスチック類	28.7
紙類・可燃物	23.7

不燃ごみとして正しく出されている割合は、前年度と同等の約 48%と低い状況です。紙類・可燃物不適物は前年度より少し減少したものの、紙類などリサイクル可能な資源物がまだまだ多く混入している実態が見られるほか、減少したプラスチック類が再び増加しています。市民・事業者に対して、ごみの減量とさらなる分別の徹底で、リサイクルへの協力を推進し、埋立処分量を削減することが必要です。

○ 資源化率(リサイクル率)の伊丹市・兵庫県・国全体の推移



令和3年度のリサイクル率

伊丹市	17.8%
兵庫県	15.4%
国全体	19.9%

※リサイクル率=ごみの総排出量のうち、資源化される量と集団回収等による資源化の量の割合

全国的なリサイクル率は、平成26年度以降減少傾向から令和2年度に増加に転じ、以降は横ばいの状況です。

伊丹市では、平成27年度まで減少傾向であったところ、平成28年度には一時的に増加したのち、その後減少し、令和2年度から増加傾向となっています。引き続き、集団回収を積極的に利用するとともに、資源物の回収日に分別排出することで、資源の有効利用に努めることが大切です。

(環境省『一般廃棄物実態調査結果』および

兵庫県『兵庫県の一般廃棄物処理』を基に作成)

雑誌・雑多な紙にはこんなものがあります

小さなものでも大丈夫! 燃やすごみに入れずに、ぜひ資源物として出してください。

図は、伊丹市行政回収における一例です。集団回収をご利用の際は回収業者にご相談ください。



○ 様々なリサイクル品

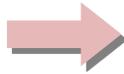
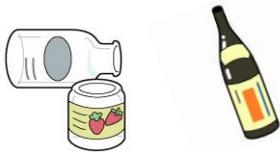
びんやペットボトル、プラスチック製容器包装に古着・布・紙、空き缶などは、資源としてリサイクルすることによって、日常生活でよく見る商品に生まれ変わります。

貴重な資源をリサイクルするためにも、ごみを出すときはルール通り分別することが大切です。

しげんぶつ  
集められた資源物

リサイクル品

びん



無色びん→無色びん  
茶色びん→茶色びん  
その他の色びん→くだいて道路の舗装材など

ペットボトル



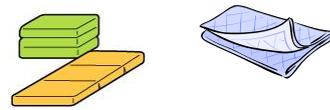
ペットボトル、卵パック、プラスチック製容器など

プラスチック製容器包装



トレイ、ボールペン、ハンガーなど

古着



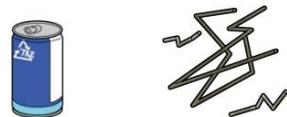
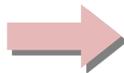
マット、ウエス(工業用雑巾)など

紙



紙パック→ トイレtpペーパーなど  
ダンボール → ダンボール箱

空き缶



アルミ缶→アルミ缶  
スチール缶→鉄の棒など

## ○燃やすごみの減量化に向けて

伊丹市では、豊中市伊丹市クリーンランドにおける焼却炉の安定稼働(災害廃棄物への対応のため余力を持った稼働)に向け、燃やすごみの量を2027年度までに約3,000トン削減する目標を掲げています。

【現状】47,272トン(2022年度) ⇒ 【目標】44,089トン(2027年度)

燃やすごみの組成(P16)では、紙類(43.5%)と食品残さ(19.6%)が全体の60%以上をしめていることから、家庭から出る燃やすごみを減らすため、以下の3つの取り組みを推進しています。

### ①紙類の適正分別

新聞紙やダンボールなどと同様に、パンフレット・カタログ、お菓子の箱・厚紙、メモ用紙などの紙類についても資源物として出すよう周知・啓発しています。(P17下部参照)

### ②食品ロスの削減

食品ロスとは、食べ残しや賞味期限切れなど本来食べられるにも関わらず廃棄される食品です。令和4年度に実施した食品ロス調査結果においては、伊丹市では年間約2,909トンの食品ロスが発生しており、これは1人1日あたり約41グラム廃棄されていることとなります。これを金額に換算すると市民1人あたり年間約1万1千円に相当します。

#### <対策>

##### 1. 残さず食べ切る

外食時には食べられる量だけ注文する。食事は残さず食べる。

##### 2. 冷蔵庫の整理整頓

買い物前には冷蔵庫の中身を確認し、必要なものをメモする。買ってきた食材は、調理しやすい形や在庫が確認できるように整理するなどの工夫をする。

##### 3. 消費期限と賞味期限の違いを認識

商品表示を正しく理解する。(「賞味期限切れ」=「捨てる」ではありません)

	消費期限	賞味期限
意味	期限を過ぎたら食べない方がよい期限。	おいしく食べることができる期限。期限を過ぎてもすぐに食べられなくなるわけではありません。
対象食品	弁当・サンドイッチ・ケーキなど	スナック菓子・缶詰・カップ麺など

### ③フードドライブ

フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。

伊丹市では、食品ロスの削減に向けて毎週月曜日～金曜日に市内11カ所の拠点回収でフードドライブを実施しています。

#### ④生ごみの水切り

生ごみに含まれている水分(重量の80%程度)は燃やすごみの重量となっており、ごみとして出す際には水分を除くため“ギュッと絞る”ひと手間の協力をお願いしています。

#### ○その他の取り組み

##### ■再生資源集団回収奨励金制度

集団回収とは、市が実施している資源物収集とは別に、家庭から出る新聞、雑誌等の資源を市内の非営利の団体で集め、再生資源回収業者に引き渡す方法です。

市では、ごみの減量・資源の有効活用のため、再生資源の集団回収を実施している団体に奨励金を助成しています。 ※1kg=4円の助成金を市から交付

##### <奨励金対象品目>

新聞	雑誌・ 雑多な紙	ダンボール	古着類	アルミ缶	スチール缶	紙パック
						

##### ■使用済小型家電の回収

伊丹市では、使用済小型家電の部品にはレアメタルなどの貴重な資源が使用されているため、市内12箇所で使用済みの小型家電の回収をしています。使用済みの小型家電の回収をすることは「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」により規定されています。





### 投入口

縦20cm×横35cm

上記のサイズ  
に入る使用済  
小型家電が対  
象です。

個人情報は消去してか  
ら出してください。

携帯電話・PHS/デジタルカメラ/ビデオカメラ/電子書籍・電子辞書/据え置き型ゲーム機/携帯型ゲーム機/携帯ラジオ/電話機(ファクシミリ含む)/フィルムカメラ/DVDビデオ/BDレコーダー・プレーヤー/ビデオテープレコーダー/チューナ/STB/MDプレーヤー/テープレコーダー/ヘッドホン・イヤホン/ICレコーダー/補聴器/ハードディスク/USBメモリ・メモリカード/電卓/電子血圧計・電子体温計/理容用機器(ヘアドライヤーなど)/懐中電灯/時計/カー用品(カーナビ・VICISユニットなど)/これらの付属品

## 回収ボックス設置場所

「ふらっと」人権センター/きららホール/市役所本庁舎  
神津交流センター/くらしのプラザ/野間分室/南分室  
緑ヶ丘体育館/伸幸苑(寺本6丁目)/みどりのプラザ  
スポーツセンター/サンシティホール

★この他、イベント回収なども実施します。ご協力をお願いします。

### ■水銀使用廃製品の回収

「水銀による環境の汚染の防止に関する法律(水銀汚染防止法)」及び「大気汚染防止法」に基づき、蛍光灯等の水銀使用廃製品の適正な処理を行う必要があります。本市では、市内の支所・分室など12箇所に専用回収ボックスを設置し、水銀を使用した蛍光灯、体温計、血圧計及び電池類のボックス回収を実施しています。

#### 【回収ボックス設置場所一覧(市内12箇所)】

- ◎「ふらっと」人権センター(堀池 2-2-20) ◎きららホール(北野 4-30)
- ◎市役所本庁舎(千僧 1-1) ◎神津交流センター(森本 1-8-22)
- ◎くらしのプラザ(宮ノ前 2-2-2) ◎野間分室(野間北 4-4-28)
- ◎南分室(御願塚 3-8-11)◎緑ヶ丘体育館(緑ヶ丘 1丁目 20)
- ◎伸幸苑(寺本 6丁目 150)◎みどりのプラザ(荒牧 6-12)
- ◎スポーツセンター(鴻池 1-1)◎サンシティホール(中野西 1-148-1)



<伊丹市まちづくり出前講座について>

伊丹市では市の施策や各種制度などを紹介するための出前講座を行っております。  
環境のテーマでは下記の講座があり、学校での子供たちへの授業として、また先生方への研修としての利用も可能です。

テーマ	担当課	担当課連絡先
親子で学ぶごみのおべんきょう ～親子で基本からごみと資源物の分け方と 出し方を学ぶ講座～	環境クリーンセンター 生活環境課 減量推進課	072-782-0968 072-781-5371 072-784-8110
ごみの減量化・資源化について ～ごみの減量を試してみませんか～	環境クリーンセンター 生活環境課 減量推進課	072-782-0968 072-781-5371 072-784-8110
ごみの排出から最終処分まで ～ごみ・資源物の流れ～	環境クリーンセンター 生活環境課 減量推進課	072-782-0968 072-781-5371 072-784-8110
それはごみですか？ ～ごみと資源物の分け方と出し方～	環境クリーンセンター 生活環境課 減量推進課	072-782-0968 072-781-5371 072-784-8110
地球温暖化ってなあに！？ ～地球温暖化と私たちの暮らし～	グリーン戦略室	072-784-8054

まちづくり出前講座の申込み・問い合わせは  
伊丹市市民自治部まちづくり室まちづくり推進課 へ  
TEL:072-780-3533 FAX:072-784-8130

ホームページから申し込みできます。

『ホームページ「組織から探す」-「市民自治部」-「まちづくり推進課」-「まちづくり出前講座」  
-または「伊丹市出前講座」で検索』



# 宿題プリント

使用例を参考にして、白紙分をコピーして  
ご活用ください。

- \* クリーンランドのホームページから、ダウンロードしてカラーコピーすることもできます。

# 1 週間のごみ調べの表 ①

## どんなごみが出たかな？

一週間	出たごみ
6/1 (土)	歯ブラシ、アイスクャンディの棒と袋、新聞紙 鼻をかんだティッシュ、牛乳パック 台所の調理くず
6/2 (日)	台所の調理くず、新聞紙、プリンカップ 洋服、われたお皿、スプレー缶
6/3 (月)	こわれたおもちゃ、食品トレイ、ペットボトル 新聞紙、雑誌、空き缶
6/4 (火)	台所の調理くず、牛乳パック、お肉のトレイ 新聞紙、電池、しょう油のびん
6/5 (水)	台所の調理くず、卵のパック、とうふのパック みかんのネット、歯ブラシ、新聞紙、お菓子の袋
6/6 (木)	台所の調理くず、シャンプーのボトル、牛乳パック 魚のトレイ、新聞紙、スリッパ
6/7 (金)	台所の調理くず、ダンボール、ジャムのびん ペットボトル、かさ、電球

年 組 番

名 前

## 1 週間のごみ調べの表 ①

どんなごみが出たかな？

一週間	出たごみ
／ ( )	

## 1 週間のごみ調べの表 ②

- ①自分の家で出そうなごみを書き入れよう！  
 ②実際にごみが出た曜日に○を書き入れよう！

ごみの種類 <small>しゅるい</small>	月	火	水	木	金	土	日
紙くず	○		○	○		○	○
生ごみ	○	○		○	○	○	○
トレイ	○	○	○	○	○	○	
空き缶 <small>かん</small>		○		○		○	
ペットボトル		○	○				
牛乳パック <small>にゅう</small>					○	○	
新聞紙	○	○	○	○	○	○	
お菓子の袋 <small>かし ふくろ</small>		○	○	○	○		○
しょう油のびん						○	
洋服				○			
歯ブラシ					○		
ダンボール			○	○			○
電池						○	



使用例

年 組 番

名 前

みんなが出したごみや資源物しげんぶつは、だれがどのようにして集めているのかな？

○ごみ出しルールを調べよう！調べてわかったことを書き入れましょう。

ごみを出す場所（      ごみステーション、スーパーの回収箱しゅう      ）

ごみを出す時間（      ごみステーションは午前 8 時 30 分まで      ）

ごみを集める人（      伊丹市から委託された収集業者さんい たく しゅうしゅうぎょうしゃ      ）

○家庭から出されるごみや資源物しげんぶつ びんべつを分別しよう！



① 	② 	③ 	④ 	⑤ 	⑥ 	⑦ 	⑧ 
古着	お菓子の袋 <small>かし ぶくろ</small>	ゴム手袋 <small>ぶくろ</small>	ラベル	びん	弁当ガラ <small>べん</small>	空き缶 <small>かん</small>	お菓子の箱 <small>み</small>
⑨ 	⑩ 	⑪ 	⑫ 	⑬ 	⑭ 	⑮ 	⑯ 
やかん	ペットボトル	電話機 <small>ま</small>	新聞紙	コップ・茶わん	生ごみ	お菓子の缶 <small>かし かん</small>	ボール



燃やすごみ【週（ 2 ）回】

③、⑭、⑯

燃やさないごみ  
【週（ 1 ）回】

⑨、⑪、⑬

プラスチック製容器包装せいようきほうそう  
【週（ 1 ）回】

②、④、⑥

古紙類・古着類  
【週（ 1 ）回】

①、⑧

びん【週（ 1 ）回】

⑤

空き缶かん【週（ 1 ）回】

⑦、⑮

ペットボトル  
【週（ 1 ）回】

⑩

年 組 番

名 前

みんなが出したごみや資源物しげんぶつは、だれがどのようにして集めているのかな？

〇ごみ出しルールを調べよう！調べてわかったことを書き入れましょう。

ごみを出す場所 ( )

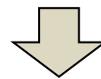
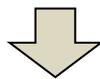
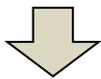
ごみを出す時間 ( )

ごみを集める人 ( )

〇家庭から出されるごみや資源物しげんぶつ ぶんべつを分別しよう！



① 	② 	③ 	④ 	⑤ 	⑥ 	⑦ 	⑧ 
古着	お菓子の袋 <small>かし ぶくろ</small>	ゴム手袋 <small>てぶくろ</small>	ラベル	びん	弁当ガラ <small>べん</small>	空き缶 <small>かん</small>	お菓子の箱 <small>かし</small>
⑨ 	⑩ 	⑪ 	⑫ 	⑬ 	⑭ 	⑮ 	⑯ 
やかん	ペットボトル	電話機 <small>でんわ</small>	新聞紙	コップ・茶わん	生ごみ	お菓子の缶 <small>かし かん</small>	ボール



も  
燃やすごみ【週( )回】

も  
燃やさないごみ【週( )回】

プラスチック製容器包装せいようきほうそう  
【週( )回】

古紙類・古着類【週( )回】

びん【週( )回】

空き缶かん【週( )回】

ペットボトル【週( )回】

れい  
使用例

年 組 番

名 前

集められた資源物は、どのようなリサイクル品に生まれ変わるのかな。  
それぞれを線でつないでみましょう。

しげんぶつ  
集められた資源物

リサイクル品

びん



ペットボトル



せいようきほうそう  
プラスチック製容器包装



古着



紙



かん  
空き缶



①

②

③

④

⑤

⑥

ア

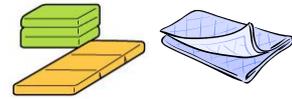
イ

ウ

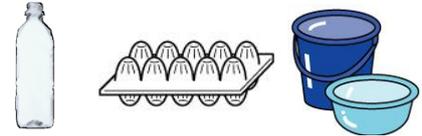
エ

オ

カ



マット、ウエス（工業用ぞうきん）など



ペットボトル、<sup>たまご</sup>卵パック、プラスチック製容器<sup>せいようき</sup>など



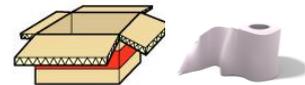
<sup>かん</sup>缶、<sup>ぼう</sup>鉄の棒（<sup>たて</sup>建物の材料）など



びん、細かくくだいて道路の舗装材<sup>ほそうざい</sup>など



トレイ、ボールペン、ハンガーなど



ダンボール箱、トイレットペーパーなど

集められた資源物しげんぶつは、どのようなリサイクル品かに生まれ変わるのかな。  
それぞれを線でつないでみましょう。

集められた資源物しげんぶつ

リサイクル品

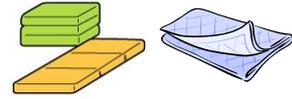
びん



①



ア



マット、ウエス（工業用ぞうきん）など

ペットボトル



②



イ



ペットボトル、たまご卵パック、プラスチック製容器せいようきなど

プラスチック製容器包装せいようきほうそう



③



ウ



かん缶、ほう鉄の棒（たて建物の材料）など

古着



④



エ



びん、細かくくだいて道路の舗装材ほそうざいなど

紙



⑤



オ



トレイ、ボールペン、ハンガーなど

空き缶かん



⑥



カ



ダンボール箱、トイレットペーパーなど

使用例

名 前

家庭でいらなくなった使用済すみ がた小型家電や水銀使用はいせい廃製品は、

どのようにして出せばいいのかな？それぞれを線でつないでみましょう

使用済すみ がた小型家電には、レアメタルなどの貴重な資源き しい しげんが使用され、この大切な資源を再生利用するため、ボックスを設置し回収しゅうしています。  
また水銀使用はいせい廃製品は、水銀の環境かんきょうへの人為的な排出い はい さくげんを削減し、水銀汚染防止おせんぼうのため、水銀を使用した製品せい せいを拠点回収しゅうしています。

小型家電製品  
水銀使用廃製品

回収ボックス

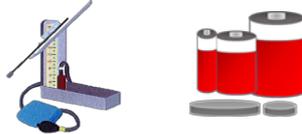
携帯電話・スマートフォン



蛍光灯（直管型、環型、電球型）



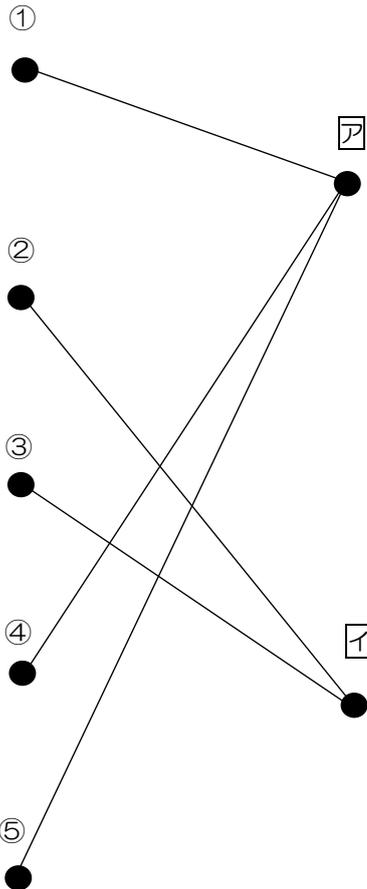
水銀体温計・水銀血圧計・電池類



デジタルカメラ・ビデオカメラ



家庭用ゲーム機



家庭でいらなくなった使用済すみ がた小型家電や水銀使用はいせい廃製品は、

どのようにして出せばいいのかな？それぞれを線をつないでみましょう

使用済すみ がた小型家電には、レアメタルなどの貴重な資源き しげんが使用され、この大切な資源しげんを再生利用するため、ボックスを設置し回収しゅうしています。

また水銀使用はいせい廃製品は、水銀の環境かんきょうへの人為的な排出を削減し、水銀汚染防止おせんぼうのため、水銀を使用した製品を拠点回収しゅうしています。

小型家電製品  
水銀使用廃製品

回収ボックス

携帯電話・スマートフォン



①



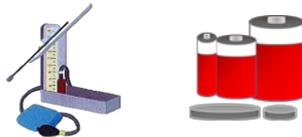
蛍光管（直管型、環型、電球型）



②



水銀体温計・水銀血圧計・電池類



③



デジタルカメラ・ビデオカメラ



④



家庭用ゲーム機



⑤





## 先生方へ

「ごみ学習」をはじめ環境学習を進めるに当たっては、学校や地域（家庭）、行政が連携し、それぞれの役割や強みを生かしながらより良い学習方法を模索することが必要です。

今回の「ごみ学習案」は学習の流れとしてご提案する一例ですが、「出前授業」などをご活用いただき、子どもたちに実物の収集車を用いた体験型の学習などを、授業に取り入れていただきましたら幸いです。

なお、「ごみ学習」の実施時期は例年、一学期に集中しますので、先生方のご希望に沿いながら、環境部局と連携した「出前授業」を各校で実施するためには、カリキュラムの調整が必要になります。何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

今後も未来を担う子どもたちへの環境学習を充実させていく観点から、学校現場との一体的な取組みを進めてまいりたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

### 令和5年度(2023年度) 環境学習推進会議委員

- 盛村 真理子 (豊中市環境部ゼロカーボンシティ推進課)
- 三浦 誓治 (豊中市環境部減量計画課)
- 秋山 祐輝 (豊中市環境部家庭ごみ事業課)
- 高橋 昇太郎 (豊中市教育委員会事務局学校教育課)
- 石田 智紀 (伊丹市市民自治部まちづくり室生活環境課)
- 大神 明宏 (伊丹市市民自治部環境クリーンセンター総務課)
- 前田 史郎 (伊丹市市民自治部まちづくり室減量推進課)
- 坂上 康子 (伊丹市教育委員会事務局学校指導課)
- 小篠 和之 (NPO 法人豊中・伊丹環境政策フォーラム)
- 村上 直之 (NPO 法人豊中・伊丹環境政策フォーラム)
- 林田 香織 (豊中市伊丹市クリーンランド再資源・搬入課)
- 宮本 美和 (豊中市伊丹市クリーンランド再資源・搬入課)

事務局:(クリーンランド再資源・搬入課)

山下 亮一 飯野 克典 萬力谷 ゆかり

\*\*\*\*\*

環境学習ガイドブック ～小学校4年生「ごみ学習」～

令和6年(2024年)3月

編集・発行 豊中市伊丹市クリーンランド 環境学習推進会議

〒561-0806 豊中市原田西町2番1号

TEL:06-6841-5394 FAX:06-6845-6194

E-mail: clean.saishigen@toyotami-cleanland.jp

\*\*\*\*\*

## 小学校での「出前授業」の様子



○実物の収集車を使って「収集車のしくみ」や  
「投入体験」の学習に大変喜ぶ子どもたち

まちづくり出前講座の申し込みは、  
まちづくり推進課へ  
詳しくは22ページを見てね！

各学校の都合の良い日時に出向きますので、どしどし  
申し込んでくださいね！



クリーンランドキャラクター  
ごみぶくろう